



平成26年度も半年過ぎました。皆さんの目標の達成度はいかがですか？今年度慈愛会創設80周年となり、大きな節目の年です。大きな記念事業として、9月13日の健康フェスタ、9月27日の祝賀会、慈愛会エッセイ集「語り継がれる慈愛の心」発行、慈愛会一丸となるおはら祭り参加、慈愛会フィロソフィー集作成等々…慈愛会の歴史に触れ、感謝し、これからの使命感を再自覚するイベントが多くあります。

今村理事長先生が纏められた記念集にある、一代目源一郎先生の想い、2代目一英先生のご苦勞、そして英仁理事長の決心など拝読して「まさに慈愛会フィロソフィーの源が引き継がれている」と強く感じました。6月から始まった「慈愛会フィロソフィー検討会」は今年度3月迄続きます。「素直な心」「心を高める」「自分を信じる」「仕事を好きになる」「利他の心」「そうしようと強く思うこと」等々本当に一つ一つが大事な言葉であり、魂です。皆さんも、時々立ち止まり「何故自分はここにいるのか」「本当に仕事を好きになっているのか」「本当にやりたいことは何か」など心を高くしながら考えてみてはどうでしょうか？

今回看護部支援室が音頭を取り、9月13日に健康フェスタを開催しました。最初は、坂本すが日本看護協会会長の講演のみの計画でしたが、健康相談・ワークショップ・エッセイ集発行など色々はことごとくになりました。準備期間も短かかったため本当に成し遂げられるか不安はありましたが、慈愛会グループの全職種が一丸となってベクトルを同じにして、皆さんの力が結集され、大成功に終わりました。1250名の来場者の方々の満足度（約90%）も高く、しばらくは、その余韻に酔いしれました。慈愛会の底力は凄いものがあります。慈愛会の協力員も・参加者も慈愛会フィロソフィーを持っていると実感致しました。まだまだ続くフィロソフィー検討会、今後どのように発展していくのか、楽しみながら勉強していきたいと思っております。

ところで、看護部は自己の能力開発のための意向調査をしておりますが、皆さんの気持ちや意見を真摯に受け止めながら、看護管理体制をどうするか日々考えております。心配しているのは、他の病院に勤めてみたい。辞めてみたい。という方です。慈愛会の良い所にもっと眼を向けてやめないで欲しいのです。慈愛会はこれからももっと発展していく組織です。一緒に頑張ってください。一緒に頑張りましょう。

統括看護部長:中重

3年目看護師研修会 8月2日 開催 バイサイド錦江3階

平成26年度に3年目になった看護師を中心に研修が行われました。鹿児島大学医学部保健学科臨床看護学 精神看護学教授 堤由美子先生を招き、「危機的状態の患者家族の受容過程」や「危機理論を活用した看護の方法」「カタルシス効果～事例を通して～」についてご講義していただきました。発病によって患者様はどのような感情になるのか、失うものは何かなど、患者様の立場になって考える時間がありました。3年目の看護師のみなさんは、今までの経験を思い返しながら答えていました。この研修は、3年目が対象ではありましたが、看護部長・副看護部長・師長・副師長も参加可能で管理的な立場から学びを深めることができました。



講義「危機的状態の患者家族の受容過程」



危機理論を活用した看護の方法を自分なりに考え発表しました。



グループワーク 「学んだ講義を今後の実践にどう活かすか」



グループワーク発表



研修終了後、堤先生を囲んで集合写真 学んだことも多く、すっかりした様子の受講生



公益財団法人慈愛会 80周年 「健康フェスタ」 9月13日(土)

第1部 各ブースでの相談コーナーや体験コーナーも大変盛り上がり、エントランスやホールにはたくさんの方であふれていましたが、ブースマネージャーの上手な交通整理で混乱を防げました。感謝です。黒野先生の認知症の講座も大人気で、2回講演で参加者200名と関心の高さを示しました。黒野先生！とても素敵でした。第2部の坂本すが会長様の講演会では、1250名の来場者が元気をいただくことができました。第3部のワークショップでは、お月見をイメージした舞台上、7名がそれぞれの立場でお話くださいました。全職員が主役となり、来場者の「お・も・て・な・し」ができたと思います。お疲れ様でした。



各ブースの様子



看護協会 坂本すが会長の講演



ワークショップ

黒野先生



公益財団法人慈愛会 創設80周年記念事業「健康フェスタ」

看護職員採用試験 8月12日(火)

第1回の看護職員採用試験を行いました。今回は34名の学生さんが、慈愛会の看護師になることを夢見て受験しました。試験は、筆記試験と面接試験。面接では、3つのグループに分かれて、グループ面接を行いました。グループ面接テーマ 「自分が看護師長だったらどんな働きがいのある病棟を作りますか」「あなたのスマートフォンの価値観とスマートフォンが今なくなったらどうしますか」「イソップ物語『北風と太陽』から学ぶ看護人生をどう考えるか」というテーマで討議しました。みなさんが受験生だとしたら、どのように答えますか？



面接テーマを考える部屋

面接会場

徳之島病院 看護部支援

7月26日(月)～8月13日(水)の期間、佐藤主任が徳之島病院を支援しました。3週間という期間に2回の台風遭遇。勤務以外にも色々な体験をすることとなった徳之島病院勤務でした。



実際に病棟で患者様を受け持ち、精神看護を行いました。

10/23,24の病院機能評価に向けての準備委員会に参加させていただきました。



台風12号に伴う強風の中で宮本看護部長さんと撮影！！